

平成29年度事業実施状況及び 平成30年度事業実施予定

〔文化芸術振興課〕

1 平成29年度事業実施状況

(1) 文化振興事業

ア 文化祭の実施

市民文化の振興を図るため、高松市市民文化祭アーツフェスタたかまつ2017を開催し、文化活動の発表の場を作るとともに、関係団体の相互交流及び作品鑑賞の機会づくりに努めた。

また、各地域コミュニティセンター等を中心に、地区文化祭を実施した。

○市民文化祭「アーツフェスタたかまつ2017」

(ア) 期間 平成29年5月27日（土）～7月2日（日）

(イ) 内容 オープニング事業、コンサート（クラシック、邦楽等）、ダンス（フラダンス、フラメンコ等）、日本舞踊、民謡、演劇、和太鼓演奏、美術展など、オープニング1事業、主催15事業、後援3事業

イ 文化団体の育成・活動助成

各分野における文化関係の団体の自主的な運営並びに広く市民に公表する文化団体の自主的な事業に対して助成を行った。

・文化芸術活動の一部助成

・文化事業の共催・後援

・「文化たかまつ」の編集・発行助成

ウ 高松市文化奨励賞の贈呈

高松市文化芸術振興計画（平成27年3月策定）に基づき、高松市文化奨励賞については、新人部門、顕彰部門の2つの部門で選考した。

【新人部門】

立川美香（音楽）

【顕彰部門】

小西博子（美術工芸及びデザイン）／福家恵美子（無形文化財）

エ 優良芸術の鑑賞

（ア）学校巡回芸術教室

小・中学校の児童・生徒を対象に、文化団体の協力を得て、生の優良芸術を鑑賞・体験する機会を提供した。

a 開催時期 平成29年6月～平成29年10月

b 開催校 19校

c 鑑賞者数 7, 983人

（イ）学校巡回能楽教室（能楽、狂言、囃子）

小・中学校の児童・生徒を対象に、生の古典芸能を鑑賞する機会を提供した。

a 開催時期 平成29年10月

b 開催校 6校

c 鑑賞者数 3, 243人

(ウ) デリバリーアーツ事業

音楽・舞踊等を出前することによって、広く市民に身近で、文化芸術に触れるこことできる場を提供した。

a 対象 一般

b 内容 瀬戸フィル音楽会、太鼓演奏会、古典落語、金管五重奏、尺八コンサート、あやつり人形劇、サーカスキャラバン7メニューで実施。

c 開催時期 平成28年7月～11月

d 開催箇所 16か所（東かがわ市開催1か箇所を含む）

e 鑑賞者数 2, 050人

(エ) 劇団四季ミュージカル「こころの劇場」開催事業

子どもたちの心に「生命の大切さ」、「人を思いやる心」、「信じあう喜び」など、人が生きていく上でもっとも大切なものを舞台を通じて語りかける、一般財団法人舞台芸術センターと劇団四季による公演を瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内の児童を対象に実施した。

a 実施日 平成30年2月20日（火）・21日（水）・22日（木）各2回公演
(20日のみ1回公演)

b 場所 サンポートホール高松 大ホール

c 内容 劇団四季ミュージカル「ガンバの大冒険」の公演

d 参加者 市内及び周辺1市5町（さぬき市・土庄町・小豆島町・三木町・直島町・綾川町）の小学校6年生及び引率教員等 5, 174人

オ 音の祭り

邦楽を中心とした水準の高いコンサートを開催することで生の文化芸術に触れる機会を提供した。

(ア) 開催時期 平成29年9月24日（日）

(イ) 開催場所 高松国分寺ホール

(ウ) 鑑賞者数 439人

(エ) 出演者 LOTUS POSITION with 山下洋輔、讃岐国分寺太鼓保存会、
讃岐国分寺子供太鼓

カ ものづくりふれあい教室

小・中学校の児童生徒を対象に、手づくりでものづくりにチャレンジしながら、いかにものが大切かを体験し、文化の創造に関心を深める機会を提供した。

(ア) 開催時期 平成29年6月～30年3月

(イ) 内容 洋裁、和裁、マスコット人形づくり、手芸など

(ウ) 参加者数 16校（22回） 651人

キ 地域文化事業推進補助

NPO法人アーツカウンシル高松が行う次世代を担う人材育成を目指した事業等の一部を助成し、地域における文化活動のすそ野拡大と幅広い事業の展開を支援した。

ク 濑戸内国際芸術祭推進事業

瀬戸内国際芸術祭の谷間期間として、関係市町、公益財団法人福武財団等とともにART SETOUCHI 2017を開催した（通年）。また、第4回目となる瀬戸内国際芸術祭2019の開催に向けた準備を行った。

ケ 高松国際ピアノコンクール事業

平成29年度は、国際音楽コンクール世界連盟加入後初めてとなる第4回を開催した。また、コンクール開催期間以外における関連イベントの充実を図り、同コンクール推進事業の継続実施及び第4回コンクールプレイベントにも取り組んだ。

コ 0才からのコンサート事業

0才から3才くらいまでの子どもと一緒に保護者（妊娠を含む）が楽しめるクラシック・コンサートを実施した。

(ア) 開催時期 平成29年5月21日（日）、7月29日（土）、10月14日（土）、平成30年3月3日（土）

(イ) 開催場所 玉藻公園披雲閣、高松国分寺ホール、高松市こども未来館、瓦町F L A Gアートステーション

(ウ) 鑑賞者数 641人

(エ) 出演者 濑戸フィルアンサンブル

サ アートディレクター推進事業

文化芸術を軸にプランニングできる人材として、演劇家である多田淳之介氏をアートディレクターとして委嘱。市内の文化芸術団体とのネットワーク作りを行うこととし、平成28年度末からアートステーションを拠点として、地域におけるアートを軸としたワークショッププログラムの開発、実践、人材育成を目指し「高松ワークショップLab.」を発足した。

シ アーティスト・イン・レジデンス事業

(ア) 高松アーティスト・イン・レジデンス

市内の活用されていない資源（空き家、廃校、商店街の空き店舗等）を活用し、国内外から招聘した3組のアーティストが一定期間滞在しながら、地域のつながりの中で作品制作を行うことで、地域との協働を生み、地域に賑わいをもたらすとともに、アートの普及や若手アーティスト等の育成を図った。

アーティスト	飯川 雄大 (映像・写真・現代美術)	水谷 一 (現代美術・仮設芸術)	清水 宏 (演劇・スタンダップコメディ)
タイトル	デコレータークラブ 「衝動とその周辺にあるもの」	美術展「表現と光」	清水宏のひとり大河ドラマ 仁義なき水戦争～高松死闘編
滞在期間	62日間	80日間	23日間
場所	高松シンボルタワー 他	高松市中央卸売市場 他	瓦町アートステーション 他

(イ) 大島アーティスト・イン・レジデンス

県内外の小学生・中学生が大島で宿泊しながら、ハンセン病の歴史を学ぶとともに、アーティストによるアートワークショップなどを実施する。

ティストによる音楽や演劇、美術のワークショップに参加する「大島に行こう！アートと自然を楽しむサマーキャンプ」を実施した。

ス まちなかパフォーマンス事業

音楽やパフォーマンスなど文化芸術による交流を創出し、都市ブランドを高めるため、人々の交流、まちの活性化を図った。

(ア) 観覧者数

- | | |
|------------------------------|----------|
| (a) TAKAMATSU MUSIC BLUE FES | 26, 370人 |
| (b) サンポートオータムジャム | 1, 600人 |
| (c) 高松フラストリート | 10, 500人 |
| (d) 街クラシック in 高松 | 1, 020人 |
| (e) 高松大道芸フェスタ | 62, 250人 |

(2) 文化芸術ホール

ア 文化芸術ホールの管理運営

(公財) 高松市文化芸術財団を文化芸術ホールの指定管理者として、当該ホールの効果的な管理運営に努めた。

イ 文化芸術ホールの自主事業

文化芸術ホールの指定管理者である(公財)高松市文化芸術財団が実施する自主事業に要する経費の一部を補助することにより、文化芸術の振興・普及事業の推進に努めた。

主催事業(補助対象10事業)

(単位:人)

公 演 名	実 施 日	使用ホール	入場者数
演劇どつとこむ(ワークショップ)	7月26日～30日	リハーサル室	24
劇団かかし座影絵劇「オズの魔法使い」	8月6日	大ホール	968
柳家花緑 独演会	10月1日	第1小ホール	290
瀬戸フィルティータイムコンサート ハロウィンスペシャル	10月22日	第2小ホール	242
バズ・ファイブと学ぼう 中高生のためのプラスクリニック	11月5日	リハーサル室	51
サクソフォーン四重奏「クワチュール・ベー」	11月19日	第1小ホール	282
木嶋真優&横山幸雄デュオ・リサイタル	1月28日	大ホール	729
高校演劇フェスティバル	2月10日	第1小ホール	238
Sing a Song	2月18日	大ホール	502
NHK全国放送公開番組「バナナマンの爆笑ドラゴン」	2月24日	大ホール	805
計			4, 131

共催事業（3事業）

(単位:人)

公演名	実施日	使用ホール	入場者数
第43回四国二期会オペラ公演 「扇の的」	9月23日～24日	大ホール	1,302
小学校招待公演「こころの劇場」	2月20日～22日	大ホール	4,997
高松国際ピアノコンクール	3月13日～25日	大ホール	10,230
計			4,997

基金事業（2事業）

(単位:人)

公演名	実施日	使用ホール	入場者数
子どもの日の子どものためのコンサート	5月5日	第2 小ホール	315
第7回サンポートホール高松『デビュー リサイタル』	3月3日～4日	第1 小ホール	501
計			816

(3) 高松国分寺ホール

ア 高松国分寺ホールの管理運営

日本管財・JTB コミュニケーションズ共同事業体を高松国分寺ホールの指定管理者として、当該ホールの効果的な管理運営に努めた。

イ 高松国分寺ホールの自主事業

高松国分寺ホールの指定管理者である日本管財・JTB コミュニケーションズ共同事業体が実施する自主事業に要する経費の一部を補助することにより、市民の創造的な文化芸術活動の推進と交流を図り、市民文化の発展の推進に努めた。

公演名	実施日	入場者数
① ステージコレクション 国分寺マルシェ&みんなのステージ 観月茶会 コスプレイベント 国分寺アートギャラリー 高松国分寺ホール舞台芸術祭	4月30日、9月24日 10月4日 10月8日 9月～12月 3月24日	1000 100 30 1,000 200
② 文化講演会 演劇入門とダンスワークショップ	5月13日	200
「一生使える」美と健康メソッド	11月25日	95
③ コンサートシリーズ		

昭和ノスタルジアコンサート	4月 15日	200
アニソンゴーインフェスティバル	5月 7日	150
④ 伝統芸能事業		
桂雀太独演会	4月 8日	200
国分寺寄席	11月 3日	150
⑤ ファミリーシアター		
映画と声楽コンサート	6月 24日	100
ケロポンズコンサート	7月 8日	450
クリスマスコンサート	12月 16日	460
あそびうたコンサート	12月 24日	200
映画上映会「怪盗グルーのミニオン大脱走」	2月 25日	450
⑥ 文化教養講座		
早朝太極拳	毎月最終日曜日	120
演劇ワークショップ	毎月第2・4木曜日	100
⑦ レクチャーコンサート		
歌声ホール	6月 10日	100
TOKウインドオーケストラ定期演奏会	3月 3日	200
⑧ ピアノリレーコンサート	2月 11日	100
⑨ こどもアートワークショップ		
子どもの日ワークショップ	5月 5日	30
夏休み親子工作教室	8月 6日	30
⑩ バックステージツアー	7月 20日	20
⑪ アウトリーチ活動		
国分寺先生	6月 17日、11月 18日、12月 9日	150
演奏者派遣	11月～3月	
計		5, 485

(4) 瓦町アートステーション

平成27年10月23日の瓦町FLAGグランドオープンに合わせて、8階に整備した市民

交流プラザ I K O D E 瓦町内に開所した。市民アート広場として多目的な空間やギャラリーを設置するとともに、市民の文化芸術活動及び交流を図るとともに中心市街地のにぎわい創出のため、多目的スタジオ、練習用スタジオ、クリエイティブルーム及びギャラリーの市民等への貸館を実施している。

2 平成30年度事業実施予定

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
瀬戸内国際芸術祭推進事業	<p>文化芸術の振興と、瀬戸内の活性化や地域振興、世界に向けての情報発信に寄与するため、現代アートの作家や建築家と協働する国際的な芸術祭と位置づけて、県・関係市町及び福武財団等とともに開催する瀬戸内国際芸術事業を29年度に引き続き推進する。</p> <p>本市としても、瀬戸内国際芸術祭高松市序内推進本部を中心として、芸術祭の成功に向け、積極的な取組みを進める。</p> <p>【開催期間】 30年度は、「ART SETOUCHI 2018」を開催する。(通年)</p> <p>【会場】 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島、本島、高見島、粟島、伊吹島、高松港・宇野港周辺</p>	47,500	
まちなかパフォーマンス事業	<p>市民の文化芸術への関心を高めるとともに、まちかどに芸術のあふれる「アート・ティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、サンポート高松や丸亀町商店街などで、アートに関連した各種イベントを実施する。</p> <p>【予定事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかコンサート事業 <ul style="list-style-type: none"> ①TAKAMATSU MUSIC BLUE FES ②サンポートオータムジャム ③高松フラストリート ④街クラシック in 高松 ・たかまつ大道芸フェスタ事業 	9,000	
文化芸術活動助成事業	<p>地域に根ざした創造的な文化芸術の振興と発展に寄与することを目的に、「高松市文化芸術活動補助金交付要綱」を定め、市内に所在又は、活動の本拠を有する文化芸術団体が、市内において文化芸術活動を広く市民に公表する事業の一部を補助することで、市民の自主的な文化芸術活動を促進する。</p> <p>また、通常の文化芸術活動事業に比べて、その内容や規模を拡充して実施する記念・周年事業に対する補助も引き続き実施する。</p>	7,868	

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
文化奨励賞事業	本市を中心に活動し、本市における文化の振興に貢献し、将来においてさらにその活躍が期待される方を選考し、顕彰部門（2名以内）・新人部門（2名以内）の2部門に分けて表彰する。	585	
市民文化祭事業	文化芸術団体等の発表の場と相互交流の機会を提供するため、市民自らが主体的に文化芸術事業を企画・実施する市民企画提案型事業「アーツフェスタ」の開催と、各地区的特性を生かした公民館活動等の学習発表や作品展示を行う合併町地区の文化祭の開催を支援する。 アーツフェスタたかまつ2018は、5月26日から7月1日まで開催。	7,601	
デリバリーアーツ事業	市民の希望するところに音楽、舞踊、古典芸能等の文化芸術を出前して、市民が身近なところで優良な文化芸術に触れる機会を提供する。 クラシック音楽会、太鼓演奏会、古典落語、金管五重奏、糸あやつり人形劇、サーカスキャラバン、尺八演奏、フルート&ピアノデュオの8メニュー15公演で開催予定。 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の連携事業として、さぬき市、東かがわ市でも公演予定である。	3,950	
【新規】 ホスピタルアート事業	市内の医療機関に音楽演奏や現代サーカス等を出前し、患者や家族が文化芸術に触れる機会を提供することにより、癒しやぬくもりが感じられる快適な療養環境の一助とする。	1,000	
学校巡回芸術教室・能楽教室事業	小・中学生の情操教育の一助とし、健全育成に資するため、学校巡回形式で、生の優良な芸術や古典芸能を鑑賞し、体験する機会を提供する。	6,377	
ものづくりふれあい教室事業	小・中学生を対象に、ものづくりにチャレンジしながら、文化の創造に関心を深め、いかにもものが大切かを体験する機会を提供する。	480	
0才からのコンサート事業	0才から3才くらいまでの子どもと一緒に保護者（妊婦を含む）が楽しめるクラシック・コンサートを実施する。年間、4回開催予定である。	1,000	

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
音の祭り開催事業	<p>邦楽の要素を取り入れた水準の高いコンサートを開催することで、生の文化芸術に接する機会を提供する。</p> <p>30年度は、日本を代表する民謡歌手、伊藤多喜雄のコンサート等のプログラムを予定しており、9月23日に高松国分寺ホールで開催予定。</p>	1,900	
劇団四季ミュージカル「こころの劇場」開催事業	<p>劇団四季による「こころの劇場」ミュージカル公演を開催し、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内の児童を招待し、優良な文化芸術鑑賞の機会を提供する。</p> <p>公演は、31年2月13日（水）～15日（金）の3日間5公演を予定しており、高松市、さぬき市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、綾川町及び附属高松小学校の小学生を対象とする。</p>	1,112	
文化芸術ホール管理運営事業	文化芸術の拠点施設であるサンポートホール高松の指定管理者である公益財団法人高松市文化芸術財団に施設管理や、情報誌発行、ホームページの運用、ホール等を利用した創造発信・人材育成・舞台鑑賞・参加交流・教育普及などの各種事業を行わせることで、本市における文化芸術の振興普及を図る。	574,762	
高松国分寺ホール管理運営事業	西部地域の新たな文化芸術の創造拠点として整備した高松国分寺ホールの指定管理者である日本管財・JTBコミュニケーションデザイン共同事業体に、施設管理、自主事業などを行わせることで、本市の創造的な文化芸術活動の推進と交流を図る。	40,257	
高松国際ピアノコンクール推進事業	第4回高松国際ピアノコンクールの成功を踏まえ、同コンクールの審査員・入賞者等のリサイタルや公開レッスン、地域での無料演奏会等を実施し、今後とも、より市民に親しまれ、地域に育まれていくコンクールとなるよう事業を推進する。	2,800	
高松アーティスト・イン・レジデンス事業	アーティストが一定期間滞在し、地域とのつながりの中で作品制作を行うことで、地域との協働や地域の賑わいを創出するとともに、アートの普及や若手アーティスト等の育成につなげる。	4,013	
大島アーティスト・イン・レジデンス事業	県内外の小中学生が大島でサマーキャンプをしながらハンセン病の歴史を学ぶとともに、アーティストによる音楽、演劇、美術等のワークショップに参加する事業を実施する。	2,000	

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
アートディレクター推進事業	<p>文化芸術を軸にプランニングできる人材を配置することで、本市の文化事業を俯瞰的かつ集約的にマネジメントするとともに、本市の文化芸術施策の展開を図る。</p> <p>任期満了となる30年度は、その総仕上げとして、市内の小学生が芸術家の表現方法を自発的に学びながら地域と一緒に舞台芸術を制作する子どもの演劇ワークショップ「高松ステージキッズ ゆめのまちへきてみまい！」を実施する。</p>	4,301	
さぬき映画祭事業	香川県、宇多津町、綾川町等とともに実行委員会に参画し、映画上映やゲストトーク、著名な監督など映画制作関係者の招聘、演劇公演を行うことで、地域文化の振興及び地域の活性化を図る。	1,000	
瓦町アートステーション管理運営事業	ことでん瓦町ビル8階を高松市が市民交流プラザ IKODE 瓦町として整備し、その一部を文化芸術の活動スペースとして貸館等の管理運営を行うことで、交通の結節点において創造的な文化芸術活動の推進と交流を図る。	11,704	

〔文化財課〕

1 平成29年度事業実施状況

(1) 史跡高松城跡（玉藻公園）

ア 玉藻公園の管理運営

香川県造園事業協同組合を玉藻公園の指定管理者として、玉藻公園の効果的な管理運営に努めるとともに、平成28年度から利用料金制を導入した。

イ 二の丸鞘橋北側石垣の保存整備

石垣の傷みが認められた二の丸鞘橋北側石垣の積直し工事を行い、史跡の環境整備に努めた。

ウ 披雲閣耐震診断

重要文化財披雲閣の耐震補強を行うため、29年度から3か年を予定して耐震診断を行っており、29年度は蘇鉄の間の耐震診断を行った。

(2) 文化財の保護

ア 文化財の調査

史跡石清尾山古墳群に近接する稻荷山姫塚古墳ほか3基の積石塚の国史跡追加指定を目指して、これまでの発掘調査成果をとりまとめ、報告書を刊行した。また、市指定史跡勝賀城跡において、内容確認のための発掘調査を実施した。

イ 文化財の保存・管理

国重要文化財小比賀家住宅土壙修理事業等に助成するなど文化財管理及び保存伝承活動等に要する経費の一部助成を行うとともに、史跡地の除草等を行い文化財の保存・管理に努めた。

また、国史跡讃岐国分尼寺跡の土地を購入し、公有地化を進めた。

ウ 文化財の公開・活用

ふるさと探訪（史跡等探訪行事）を年10回開催するなど、文化財の公開・活用に努めた。

（参加者総数1,286人）

また、石清尾山古墳群の調査成果等の情報発信のために連載講座（年間4回）をサンクリスタル高松視聴覚ホール等で開催した。（参加者総数352人）

エ 四番丁スクエアの管理

埋蔵文化財センターほか高松市コミュニティ協議会連合会、創造支援センターが置かれている四番丁スクエアの施設管理を行った。

(3) 歴史資料館事業実績

本市の歴史・考古・民俗等に関する資料の収集・保管・調査研究を行うとともに、展示、情報の提供及び教育普及活動を実施した。

ア 平成29年度利用者数等

（ア） 総利用者数 30,756人

(イ) 総観覧者数 25,794 人

イ 展示事業

(ア) 常設展 観覧者数 2,558 人

(イ) 企画展及び収蔵品展 開催展数 4 展／開催日数 197 日間／観覧者数 6,939 人

展 覧 会 名	会 期	観覧者数	内 容
収蔵品展 「奥の坊遺跡の世界－弥生時代の屋島周辺を考える－」	2/4～4/9 (8日間) 4/1からの日数	273 人 (有料 83 人) 4/1からの 観覧者数	東部運動公園整備事業に伴う調査により発見された、奥の坊遺跡について展示・紹介した。
収蔵品展 「プレイバック高松－写真でふりかえるあの頃この頃－」	4/22～6/25 (56日間)	2,265 人 (有料 751 人)	昭和以前の古い時代から高松で撮影された貴重な写真や「広報たかまつ」の取材写真等により、懐かしい高松の姿を展示・紹介した。
第73回企画展 「さぬきのFOOD（風土）－食に見る郷土の風景－」	7/15～9/3 (44日間)	1,582 人 (有料 520 人)	香川を代表する郷土料理のさぬきうどんのほか、多様な視点から、風土の恵みに満ちた讃岐の食、食を通して見える郷土の姿を展示・紹介した。
収蔵品展 「戦国時代の高松－西の香西と東の十河－」	11/3～12/24 (45日間)	1,620 人 (有料 388 人)	勝賀城城主であり本市西部を領有した香西氏と十河城に拠って本市東部を領有した十河氏を中心に、戦国時代の高松を展示・紹介した。
第74回企画展 「花鳥画の系譜 東溪と南蘋派」	1/27～3/18 (44日間)	1,199 人 (有料 362 人)	讃岐が誇る画人・亀井東溪の活躍に焦点を当て、上方・江戸での体験、画をめぐる交流関係、画人たちによって描かれた華麗なる花鳥画を展示・紹介した。

(ウ) 学習室展示 観覧者数 9,193 人 (再掲。総利用者数及び総観覧者数には計上しない。)

歴史資料館学習室を利用した展示を行った。

展 示 名	会 期	観覧者数	内 容
376年ぶりの里帰り 生駒親正甲冑展	2/21～4/9 (8日間) 4/1からの日数	273 人 4/1からの 観覧者数	376年ぶりに、秋田県由利本荘市矢島町にある生駒家菩提寺の龍源寺から、生駒親正夫妻の墓所がある本市の弘憲寺に移された甲冑（生駒親正が身につけたと伝えられる）を展示・紹介した。
讃岐の方言を料理する －藤本誠／讃岐の方言グラフィックデザイン展－	4/29～3/25 (279日間)	8,920 人	本市出身のグラフィックデザイナー・藤本誠氏のディレクションにより、過去に大好評を博した讃岐弁パネル、グッズ類を展示・紹介した。

(エ) ロビー展 開催展数 8 展／観覧者数 16,297 人

歴史資料館エントランスホールを利用したロビー展を開催した。

展 示 名	会 期	観覧者数	内 容
KAWARA	2/21～5/26 6/1～7/13 (85日間)	4,113 人 4/1からの 観覧者数	個人収集家から一括寄贈された古瓦資料の中から、香川県下出土の瓦を展示した。

	4/1 からの日数		
ドキドキ土器パズル	2/4～5/26 (48 日間) 4/1 からの日数	(再掲 2,012 人) 4/1 からの 観覧者数	ばらばらになった土器を組み合わせる接合作業を随時体験できるようにした。
うどんや	7/14～9/8 (49 日間)	2,669 人	第 73 回企画展に合わせ、うどん店を模した一角を設け、郷土図書の閲覧・DVD 鑑賞などできるようにした。
菊池寛記念館ロビー展 「羅生門」が生まれるまで	9/9～10/22 (38 日間)	3,152 人	菊池寛記念館第 26 回文学展「没後 90 年芥川龍之介ーその青春と友情」に合わせ、草稿・関連ノート（複写）を展示した。
甦る屋嶋城	10/24～11/30 (33 日間)	1,758 人	屋嶋城の説明をパネルで展示した。
勝賀城跡発掘調査速報展	12/1～2/6 (53 日間)	2,627 人	収蔵品展に合わせ、勝賀城跡の発掘調査成果を速報として、報告・展示した。
上天神遺跡出土辰砂関連資料展（県有形文化財指定）速報展	12/26～1/24 (21 日間)	(再掲 909 人)	上天神遺跡出土辰砂関連資料の香川県有形文化財（考古）指定記念に併せ、遺跡所在地自治体での公開事業としてパネルと資料で紹介した。
どうぶつ尽くし	1/27～4/20 (55 日間) 3/31 までの日数	2,320 人 (うち再掲 342 人) 3/31 までの 観覧者数	第 74 回企画展に合わせ、動物モチーフの郷土玩具を展示した。

※ 上記の展示と併せ、飛龍丸と久本古墳陶棺の写真をひきのぼし、大きなパズルに仕立た「歴史パズル」（期間：6/1～9/8）も展示・設置した。

ウ 教育普及活動 参加者数 4,722 人

子ども対象のプログラムほか、企画展に併せて、展示テーマに沿った記念講演会などを開催し、歴史資料への興味関心を深める機会を設けた。

(ア) サンクリスタル学習 2,770 人

歴史資料館・菊池寛記念館・中央図書館の 3 館合同で、市内小学生を対象にした体験学習「サンクリスタル学習」を実施した。平成 26 年度から、午後からの補助学習として屋島学習を行っており、屋嶋城等の見学を行った。（8 校 588 人）

a 参加校数 33 校（校外学習 3 校を含む。）

b 参加者 2,770 人（児童 2,624 人、引率者 146 人）

(イ) 子ども向けのプログラム 257 人

講 座 名	開催日	参加者数	内 容
歴史クイズにチャレンジしよう！	春・夏・ 冬休み	延べ 164 人	歴史クイズで歴史や資料館に親しんでもらった。
夏休み市場 DE 自由研究	7/22 7/27	66 人	第 73 回企画展関連イベント・夏休み子ども歴史講座として、高松市中央卸売市場の見学、解説付き展示観覧により、「食」について学んでもらった。

第73回企画展ワークショップ 「伝えたいさぬきの郷土料理－押し抜き寿司をつくろう－」	8/5	27人	郷土料理の話及び押し抜き寿司の作り方を聞き、調理実習・食事を行った。 講師：十川時子氏（郷土料理研究家） 末原俊幸氏（野菜ソムリエ上級プロ）
-----------------------------------------------	-----	-----	------------------------------------------------------------------------------

(ウ) 古文書講座 346人

講 座 名	開催日	参加者数	講 師	内 容
古文書講座	8月～3月 (計7回)	延べ346人	三谷敏雄氏 (元高校教諭)	地元の生活に密着した古文書を題材に、講師による解説を通して古文書に親しんでもらった。

(エ) 市政出前ふれあいトーク 2回 40人

(オ) 展覧会関連イベント 447人

講 座 名	開催日	参加者数	講 師	内 容
収蔵品展ミュージアムトーク （「奥の坊遺跡の世界」）	計2回 4/1からの回数	延べ20人 4/1からの参加者数	収蔵品展担当者及びサポートー	展覧会場における展示解説を行った。
収蔵品展ワークショップ 「昔の写真にはいりこもう！」	5/14 6/10	39人	収蔵品展担当者	古い写真と現在の写真をコラージュして、ポップアップカードを制作した。
第73回企画展講演会 「さぬきの恵みを食べよう－香川の食と風土について－」	7/29	58人	川染節江氏 (香川県食農アドバイザー、農学博士)	讃岐の食文化の特徴や展示内容の考察等を幅広く解説した。
第73回企画展 ミュージアムトーク	計8回	延べ77人	企画展担当者及びサポートー	展覧会場における展示解説を行った。
収蔵品展史跡見学 「戦国の城跡を歩こう！」	12/9	25人	収蔵品展担当者	実際に勝賀城跡を訪れ、発掘調査成果の説明も含めて、見学した。
収蔵品展ミュージアムトーク （「戦国時代の高松」）	計8回	延べ68人	収蔵品展担当者及びサポートー	展覧会場における展示解説を行った。
ロビー展「上天神遺跡出土辰砂 関連資料展（県有形文化財指定）速報展」解説	1/13	15人	信里芳紀氏 (香川県教育委員会主任文化財専門員)	上天神遺跡出土辰砂関連資料について解説を行った。
第74回企画展記念講演会 「忘れられた大坂の南蘋派」	2/10	58人	中谷伸生氏 (関西大学文学部総合人文学科教授)	江戸時代東溪が大坂に行って体験したであろう大坂画壇の画人たちについて紹介した。
第74回企画展ワークショップ 「動植物モチーフでモビールを作ろう！」	3/3	18人	太田恵美子氏 (芸術士)	動植物をモチーフとしたモビールを制作した。
第74回企画展 ミュージアムトーク	計8回	延べ69人	企画展担当者及びサポートー	展覧会場における展示解説を行った。

(カ) 博物館実習受入事業 11日間延べ55人

(キ) サポート事業 延べ293人

事 業 名	開催日	参加人数	内 容
-------	-----	------	-----

サポーター例会等	計 28 回	延べ 148 人	ロビー展示や企画展ポスター等発送作業・資料整理等をした。
ミュージアムトーク	計 14 回	(再掲 14 人)	展示会場における展示解説を行った。
古文書ボランティア	計 24 回	延べ 145 人	収蔵資料の解読とデータ化を進めた。

(ク) 共催事業 514 人

事 業 名	開催日	参加者数	内 容
讃岐村塾（友の会）事業	5/27～3/24 (計 11 回) 第 4 土曜日ほか	延べ 514 人	毎回テーマごとに大学教授等を講師として招き、講演会・県外研修（高知県）等を行った。

エ 資料館施設利用者数 240 人

歴史資料館等協議会委員等 22 人

サンクリスタル学習説明会参加者 27 人

図書利用者等 191 人

オ 資料収集

(ア) 常設展示資料

(単位：点)

実物資料	レプリカ	グラフィック	映 像	模 型	合 計
200	50	50	28	8	336

(イ) 平成 29 年度収集資料 購入 7 点、寄贈 137 点、他へ移管 4 点 差引増減 140 点

(ウ) 平成 29 年度末収蔵資料内訳

(単位：点)

歴史資料	民俗資料	美術資料	考古資料	玩具資料	伝統工芸資料	合 計
29,042	12,706	3,625	5,446	4,640	199	55,658

(4) 石の民俗資料館事業実績

石と人間のかかわりの文化を継承し、資料の収集・保管・調査を行うとともに、展示・体験学習などの教育活動を実施した。

ア 平成 29 年度利用者数等

(ア) 総利用者数 59,090 人

(イ) 総観覧者数 17,832 人

イ 展示事業

(ア) 常設展 観覧者数 6,606 人

(イ) 企画展 開催展数 5 展／開催日数 186 日間／観覧者数 8,606 人

展 覧 会 名	会 期	観覧者数	内 容
企画展 「グアテマラ！民族衣装コレクション～伝統の技と色彩～」	4/29～6/11 (38 日間)	2,524 人 (有料 428 人)	個人収集家がグアテマラの村々や市場を回り収集した民族衣装の展示。手仕事の石工用具同様、伝統を継承してきた手仕事の工芸品といえるグアテマラの民族衣装を通して、独自の技術の発達や、それを守ることの難しさ、そして民族衣装から溢れ出る芸術性を展示・紹介した。

企画展 「恐竜！幻獣！！いきものフィギュア展～竹内しんぜん生物造形の世界～」	7/22～9/3 (38日間)	2,320人 (有料973人)	竹内信善氏が、今だ謎が多い恐竜を細部までリアルに製作した恐竜模型を中心に展示・紹介した。
石の里のアーティストたち 「テーマ・庵治石」Part16 (屋外展示)	10/7～11/19 (38日間)	2,068人	庵治石の素材の良さを生かし、庵治・牟礼在住の石匠の里のアーティストたちが制作した、創造性豊かな石彫作品を展示・紹介した。
石とのコラボレーション企画「伏石康男 遺作彫刻展」	10/7～11/19 (38日間)	865人 (有料242人)	香川県展や横浜彫刻展、足立区野外彫刻コンクールなど香川県内外で活躍し、石あかりづくりの名人であった伏石康男氏の遺作を展示・紹介した。
さぬきアートプロジェクト 「四宮龍展 Wave シリーズ 2018」	1/6～2/12 (34日間)	829人 (有料288人)	海の環境問題をテーマに、海岸に漂流している流木や廃材を利用して作品を創り続ける、四宮龍氏の展覧会を開催し、新作「Wave」シリーズを中心に「Seam an」シリーズを含む約10点を展示・紹介した。

(ウ) ホール展・共催展 開催展数 8展／開催日数 81日間／観覧者数 2,620人

展覧会名	会期	観覧者数	内容
萌(めばえ)展	4/7～4/16 (9日間)	278人	文化協会むれの指導者による書道・絵手紙・洋画・革工芸・和紙ちぎり絵・日本画等の作品を展示了。
水無月展	6/16～6/25 (9日間)	178人	文化協会むれに所属する、永和書道会と絵手紙同好会の作品を展示了。
文月展	7/7～7/16 (9日間)	147人	文化協会むれに所属する、アキホ・タタと和紙ちぎり絵同好会の作品を展示了。
長月展	9/15～9/24 (9日間)	253人	文化協会むれに所属する、絵を楽しむ会キャラットと墨友会の作品を展示了。
師走展(前期)	12/1～12/10 (9日間)	331人	文化協会むれに所属する、O's工房と草萌 <small>くさも</small> の作品の作品を展示了。
師走展(後期)	12/16～12/24 (8日間)	315人	文化協会むれに所属する、桜花書道会の作品を展示了。
徳島文理大展	2/17～3/18 (26日間)	570人	徳島文理大学の学生による展覧会。小豆島の石が上方や江戸で流通していたことを物語る古文書をもとに、調査研究した成果を紹介した。
椿展	3/24～3/25 (2日間)	548人	実物の椿の花や写真パネル等で、約100種類の椿の展示を行い、その美しさと魅力を紹介した。

ウ 教育普及活動

(ア) 延参加者数 4,593人

a 体験学習 27回 延べ 725人

(a) 夏休みなどにオリジナルアートづくりが体験できる「工作教室」等を開催した。

防災教室・ミニジオラマ・ミニ石あかり・モビールづくり等 13回 171人

(b) 展示に関連したワークショップ・イベント等 8回 358人

制作体験・さをり織体験・漂流物でアート等

アーティストトーク「グアテマラ展フロアトーク」等

(c) 来館者の体験講座・市政出前ふれあいトーク 6回 196人

小学校・介護施設等

b 古文書講座 11回 181人

8月を除く毎月第2金曜日に開催した。

講師 加藤 優氏(元徳島文理大学教授)

江戸時代の短冊を題材に取り上げ、参加者と一緒に読み、その後講師から解説文との解説を受けた。

c 資料館コンサート等 7回 742人

コンサート等を通して資料館をもっと多くの人にPRするため、ロビーを利用して開催した。

石の民俗資料館友の会が中心の資料館コンサート5回(5月・7月・10月・12月・2月)、企画展関連コンサート1回、音楽交流演奏会1回を開催した。

d その他(年間を通じ常時開催) 延べ 2,945人

ストーンハンティング(庵治石の小石の中から天然石を探る)や石ペイントなど、遊びを通して、石と触れ合う機会を設けた。

(イ) 公園利用者他 利用者数 36,665人

公園利用者数 17,617人

エントランス等利用者数 19,048人

エ 資料収集

(ア) 常設展示資料

(単位:点)

実物資料	レプリカ	グラフィック	映像	模型	合計
454	26	19	10	5	514

(イ) 平成29年度収集資料 0点

(ウ) 平成29年度未収蔵資料内訳

(単位:点)

歴史資料	民俗資料	考古資料	伝統工芸資料	自然科学資料	合計
19	6,489	3	0	581	7,092

(5) 香南歴史民俗郷土館事業実績

高松平野南部地域の歴史民俗資料の収集・保管・調査を行うとともに、展示・体験学習などの教育活動を実施した。

ア 平成29年度利用者数等

(ア) 総利用者数 33,973人

(イ) 総観覧者数 24,391人

イ 展示事業

(ア) 常設展 観覧者数 12,394人

(イ) 企画展及び収蔵品展 開催展数 8展／開催日数 224日間／観覧者数 9,527人

展覧会名	会期	観覧者数	内容

T H E ☆収蔵品展 201 7～実はこんなものある んです！～	3/25～4/9 (8日間) 4/1からの日数	204人 4/1からの 観覧者数	当館が平成29年度収蔵した寄贈資料を中心 に約176点を展示・紹介した。
第12回 わが家のお宝展 ＊え～もん・おもっしょい もん大集合！＊	6/3～7/9 (32日間)	848人	市民から集めた自慢の品、他にない珍品な どを「わが家のお宝」と題して展示・紹介し た。
夏の企画展 宇宙へ飛びたて!! プラモ 展	7/16～8/27 (37日間)	1,891人	宇宙をテーマにスペースシャトルやロケット のプラモを展示・紹介するとともに、NASA の宇宙ステーションの映像を放映した。
よみがえれ！ガソリンカ ー展	9/2～9/23 (19日間)	1,200人	「ガソリンカー」の名前でも知られる旧塩 江温泉鉄道を、写真や路線図などの資料で展 示・紹介した。
日本刀展 —もののふの美—	10/14～12/3 (44日間)	3,115人	武士が身に着けていた日本刀や甲冑を展 示・紹介した。
埋蔵文化財展 やしまのき　あいさこうまづかこふん 屋嶋城と相作馬塚古墳を 探る	12/9～1/14 (27日間)	665人	高松市埋蔵文化財センターの発掘調査速報 を展示・紹介した。
第17回 篆刻展	1/19～2/14 (22日間)	637人	郷土館講座「篆刻教室」の受講生の作品展
第17回 郷土の文化拓本 展	2/18～3/18 (25日間)	774人	郷土館講座「拓本と表装を楽しむ」の受講 生の作品展
—明治生まれの画人— 三井飯山の水墨画展	3/21～4/8 (10日間) 3/31までの日数	193人 3/31までの 観覧者数	当館に収蔵している寄贈資料「三井飯山の 水墨画」を展示・紹介した。

ウ 共催展 開催展数 4展／開催日数 44日間／観覧者数 2,470人

展 覧 会 名	会 期	観覧者数	内 容
第12回 城山まつり	4/15～5/21 (32日間)	1,063人	郷土の儒学者「中山城山」ゆかりの品々を 公開した。
第39回 香南さつき展	5/26～5/28 (3日間)	626人	香南さつき会メンバーが育てたさつきの盆 栽を展示した。
第18回 香南文化交流展	9/26～10/1 (6日間)	460人	香南文化交流サロン会員による作品展
第21回 土遊会 陶芸展	10/7～10/9 (3日間)	321人	土遊会メンバーによる陶芸作品展

エ 教育普及活動

(ア) 延参加者数 4,957人

a 郷土館講座 参加者数 339人

一般市民を対象にした郷土館講座を開催した。

講 座 名	開催日	講 師	参加者数	内 容
古文書を読む	計 10 回	山下隆章氏 (三木町立白山小学校長)	延べ 99 人	郷土館資料(由佐家文書・丸岡家文書等)を題材に取り上げ、古文書を読み解いた。
拓本と表装を楽しむ	計 10 回	喜田優氏 (香南拓本会副会長)	延べ 58 人	文学碑などを拓本にとり、軸装・額装して、拓本展に向けた作品づくりを行った。
篆刻教室	計 10 回	宮本瑞邦氏 (日本篆刻家協会常任委員)	延べ 122 人	石に絵や文字を彫って、篆刻作品を制作した。
歴史講座「書画のよそおい(掛軸の表装について)」	9/2	高木敬子氏 (県立ミュージアム学芸員)	27 人	書画の掛軸に使われている きれ きれの色合いや表装の違いについて講演を行った。
干支(戌)の置物作り	12/9	丹久美子氏 (協力ボランティア)	13 人	古布を使って干支(戌)の置物を作った。
讃岐かがり手まり教室	1/23	讃岐かがり手まり 保存会	20 人	香川県の伝統工芸品である讃岐かがり手まりを製作した。

b 夏休みこども講座 参加者数 289 人

講 座 名	開催日	講 師	参加者数	内 容
化石のクリーニング	7/23	藤井明氏 (香川県サイエンスボランティア会員)	35 人	鉱石の中からハンマーを使い植物や昆虫の化石を探した。
ミニ埴輪をつくろう	7/26 9/9	香南歴史民俗郷土館職員	61 人	粘土を使いミニ埴輪を作った。
ティッシュカバー教室	7/29	荒岡登代子氏 (古布のリメイク同好会代表)	26 人	古布を材料にティッシュカバーを作成した。
クレイ粘土とお花のケーキアレンジ	7/29	多田美保氏 (Rinkahanakurabu 凜花主宰)	19 人	プリザーブドフラワーやクレイ粘土を使ってケーキのオブジェを飾るアレンジを行った。
企画展関連こども講座 プラモ(ミニ四駆)をつくろう	7/30	香川進空会会員	44 人	企画展関連事業としてプラモデルミニ四駆を作成し、専用コースで実際に走らせた。
手習草子(書道教室)	8/1	香南歴史民俗郷土館職員	16 人	むかしの寺子屋で学んだように書道教室を行った。
化石のレプリカを作ろう	8/6	藤井明氏 (香川県サイエンスボランティア会員)	43 人	印象材で化石の型をとり、石膏を流し込んでレプリカを作った。
勾玉を作ろう	8/8	大嶋和則氏 (高松市埋蔵文化財センター文化財専門員)	45 人	柔らかい石を削ったり磨いたりして勾玉を作った。

c 展示関連イベント 参加者数 560 人

講 座 名	開催日	講 師	参加者数	内 容
講演会 一中山城山の坂出市域での歴史調査	4/23	井上勝之氏 (坂出市文化財保護審議会委員)	29 人	共催展「城山まつり」に合わせて、中山城山が残した功績の内、特に坂出中心の業績について講演を行った。
共催展関連イベント 城山クイズ	4/15～5/21	香南歴史民俗郷土館職員	6 人	共催展「城山まつり」に合わせて展示資料を見て解くことができる中山城山クイズを実施した。
企画展関連ワークショップ 「ダンボール工作・ぬりえ」	7/16～8/27	香南歴史民俗郷土館職員	184 人	企画展「プラモ展」に合わせて、作成したぬりえとダンボールキットの工作を実施した。
企画展トークイベント 「ガソリンカーに乗った思い出」	9/16	蓮井正文氏 (塩江温泉鉄道に乗った人物)	22 人	企画展「ガソリンカー展」に合わせて、ガソリンカーに乗車した体験談などを紹介した。
企画展トークイベント 「塩江温泉鉄道と少女歌劇」	9/18	宮本義行氏 (香川近代史研究会会員)	33 人	企画展「ガソリンカー展」に合わせて、塩江温泉郷のにぎわいを少女歌劇の資料と一緒に紹介した。
企画展関連行事 「抜刀演武及び火縄銃実演」	11/4	日本美術刀剣保存協会香川県支部	180 人	企画展関連行事として、香南町月見ヶ原公園にて抜刀と火縄銃の実演を行った。
企画展関連講演会 「作刀について」	11/11	藤澤慎氏 (刀匠)	42 人	企画展「日本刀展」に合わせて刀匠を講師に日本刀の歴史や作刀について講演を行った。
企画展関連イベント 甲冑体験	11/18	日本美術刀剣保存協会香川県支部	12 人	企画展「日本刀展」に合わせて甲冑の着付体験を行った。
企画展関連講座 「竹細工で鬼おろしをつくろう」	11/23	三好正和氏 (鞘師)	9 人	企画展「日本刀展」に合わせて竹を加工し、鬼おろし(大根おろし器)を製作した。
企画展関連講演会 「未盗掘古墳の至宝 相作馬塚古墳と5世紀の国際交流」	12/23	高上拓氏 (高松市埋蔵文化財センター文化財専門員)	20 人	発掘調査速報展に合わせて、講演会と展示解説を行った。
企画展関連講座 拓本を体験しよう!	3/3	喜田優氏 (香南拓本会副会長)	23 人	企画展「郷土の文化拓本展」に合わせて、拓本の実技を公開するとともに、採拓体験を行った。

d その他の事業 参加者数 3,701 人

事 業 名	開催日	講 師 等	参加者数	内 容
月釜茶会	4/16～3/18 (計 11 回)	川原宗津氏ほか	延べ 1,814 人	月代わりの席主によるお茶席を行った。
天守閣開放	5/2～5/7 (6 日間)	香南歴史民俗郷土館職員	58 人	開館記念日(5/3)に合わせて天守閣を来館者に開放した。
古本まつり	9/30～10/31 (27 日間)	なし	1,665 人	秋の読書週間に合わせて、市民から集めた本を提供した。

デリバリー・アーツ 「瀬戸ファイル～弦楽四重奏～」	12/16	高松市文化芸術財団	124人	城山顕彰会の企画で、高松市文化芸術財団のデリバリー・アーツ事業で弦楽四重奏を行った。
使ってみよう！昔の道具～おもちつき～	2/10	香南町池西婦人会ほか	40人	臼と杵を使った昔ながらの餅つき体験を行った。

e 出前資料館 参加者数 68人

事 業 名	開催日	参加者数	内 容
ふれあいトーク 「城山学習」	2/14	68人	香南小学校5年生（2学級）対象に郷土の儒学者「中山城山」を紹介した。

(イ) 図書館等利用者数 4,625人

図書館利用	2,952人
貸館利用者	644人
クラブ活動利用者	1,013人
職場体験	16人

オ 資料収集

(ア) 常設展示資料

(単位：点)

実物資料	レプリカ	映 像	模 型	合 計
220	13	1	2	236

(イ) 平成29年度収集資料 0点

(ウ) 平成29年度末収蔵資料内訳

(単位：点)

歴史資料	民俗資料	美術資料	考古資料	自然資料	その他	合 計
3,590	407	8	120	126	365	4,616

(6) 讃岐国分寺跡資料館事業実績

特別史跡讃岐国分寺跡を保護し、文化財の保存及び活用を図るとともに、歴史的意義等を説明するため展示及び情報の提供・教育普及活動を実施した。

ア 平成29年度利用者数等

(ア) 総利用者数 22,161人

(イ) 総観覧者数 4,221人

イ 展示事業

(ア) 常設展 観覧者 4,221人

(イ) 企画展 開催展数 5展／開催日数 246日間／観覧者数 3,417人（上記内数）

展 覧 会 名	会 期	観覧者数	内 容
埋蔵文化財展 讃岐国府跡を探る 8	5/23～7/9 (42日間)	598人	県が実施した讃岐国府跡探索事業の発掘調査成果を展示・紹介した。
東海道の国分寺跡II ～友の会現地研修から～	7/11～9/24 (66日間)	940人	資料館友の会協力のもと、全国の国分寺跡のうち、東海道の国分寺跡について展示・紹介した。
平成28年度 遺跡発掘調査速報展	10/11～11/26 (41日間)	921人	高松市内で発掘された遺跡の調査結果等を展示・紹介した。

国分寺町の文化財	11/28～1/21 (43日間)	438人	国分寺町の文化財について、パネル展示した。
万葉の花 IV	1/23～3/25 (54日間)	520人	万葉集に歌われた草花等のうち、「恋」につわる植物について、歌とともに紹介した。

ウ 教育普及活動

(ア) 延参加者数 1,201人

a 一般市民を対象にした資料館講座を開催 参加者数 596人

講 座 名	開催日	講 師	参加者数	内 容
ふるさと文化財探偵団	6/11～12/10 (計5回)	川染節江氏 (香川県立保健医療大学講師) ほか地元協力者	延べ117人	天平衣装体験・草木染め体験など、古代学習を通して、歴史や文化を学んだ。 対象：小学4～6年生
伝統文化子ども箏教室	6/10～11/11 (計24回)	山本雅史麗氏((財)生田流正派邦楽会大師範)	延べ277人	邦楽(箏)を通して、日本の伝統文化を学び、史跡まつりで実践発表を行った。 対象：小学5年生～中学生
歴史講座	12/23～3/10 (計6回)	①～③千葉幸伸氏 (高松市歴史民俗協会会長) ④⑥川染節江氏(香川県立保健医療大学講師) ⑤黒川英治氏	延べ202人	① 讃岐阿野から歴史を見る 香西史観を超えて(第1回) ② 讃岐阿野から歴史を見る 香西史観を超えて(第2回) ③ 讃岐阿野から歴史を見る 香西史観を超えて(第3回) ④ 讃岐の食を探る(第1回) ⑤ 古の道を訪ねて(法華寺) ⑥ 讃岐の食を探る(第2回)

b 展覧会関連イベント 30人

講 座 名	開催日	講 師	参加者数	内 容
講演会 「屋嶋城の謎に迫る」	10/14	渡邊誠氏 (高松市埋蔵文化財センター文化財専門員)	30人	史跡まつり開催記念講演会 「屋嶋城の謎に迫る」について解説した。

c その他事業 参加者数 575 人

事 業 名	開催日	参加者数	内 容
讃岐国分寺跡資料館友の会事業	4/20～3/16 (計 13 回)	449 人	① 体験：史跡探訪ウォーク（讃岐国分寺跡） ② 体験：水引ストラップ作り体験 ③ 講演会：総会及び講演会 ④ 講演会：埋蔵文化財展記念講演会 ⑤ 講演会：門前町について ⑥ 開催協力：四国民俗学会研究発表会 ⑦ 清涼コンサート：吟詠（徳田 寿風） ⑧ 史跡まつり関連事業：講演会 ⑨ 史跡まつり関連事業：史跡めぐりウォーク ⑩ 史跡まつりクイズラリー運営 ⑪ 現地研修：キトラ古墳と飛鳥周辺（明日香村） ⑫ 現地研修：「鞆の浦」（いきいき会議と共催） ⑬ 現地研修：全国の国分寺跡を訪ねる（若狭国分寺跡：小浜）
讃岐国分寺天平文化倶楽部事業	4/20～3/31 (計 6 回)	126 人 (史跡まつり内数除く)	① 資料館事業天平衣装体験（資料館事業内数） ② 国分寺北部幼稚園夏祭り着付け支援 ③ 国分寺南部校区運動会着付け支援 ④ 第 18 回讃岐国分寺史跡まつり天平行列 ⑤ 現地研修：香川県立ミュージアムほか ⑥ 万葉植物植栽

(イ) 史跡公園・資料館施設利用者

利用者数 16,739 人（史跡まつり 5,500 人・公園 9,783 人・資料館施設利用 1,456 人）

a 讃岐国分寺史跡まつり

事 業 名	開催日	参加者数	内 容
第 18 回讃岐国分寺史跡まつり 「語り継がれし古の伝統」 (主催：史跡まつり実行委員会)	11/4	5,500 人	国分寺が栄えた天平時代の知識を深め、この貴重な特別史跡を郷土の財産として住民の手で保護し、人的・文化的交流の拠点として啓蒙・啓発活動を行った。（天平行列、子ども力餅大会、ヴィオリン演奏ほか）

エ 資料収集

(ア) 常設展示資料

(単位：点)

実物資料	レプリカ	グラフィック	映 像	模 型	合 計
76	13	18	8	1	116

(イ) 収蔵品 考古資料 76 点

(7) 菊池寛記念館事業

ア 常設展

- (ア) 菊池寛の生涯と業績をグラフィック・解説映像により編年的に紹介するとともに、遺品・生原稿・著書等を展示している。
- (イ) 菊池寛の生家、上演戯曲舞台を模型で再現、東京の雑司ヶ谷の旧邸宅内の書斎を原寸復元し展示している。
- (ウ) 「芥川賞」、「直木賞」、「菊池寛賞」、「菊池寛ドラマ賞」、「香川菊池寛賞」の受賞者及び受賞作品などを紹介している。
- (エ) 菊池寛を初め、郷土にゆかりのある作家の著書、芥川賞・直木賞受賞作品や、その他大衆文学作品などが閲覧できる「研究閲覧室」を併設している。

(オ) 常設展実績

期間 平成27年4月1日～28年3月31日 入場者数 7,498人

期間 平成28年4月1日～29年3月31日 入場者数 7,093人

期間 平成29年4月1日～30年3月31日 入場者数 7,287人

イ 第26回文学展の開催（高松市・菊池寛顕彰会 共催）

事業内容	期間	入場者数
菊池寛記念館第26回文学展 企画展示「没後90年 芥川龍之介－その青春と友情」	9/16～10/22	2,529人
文学展関連行事 特別講演会、NHK高松放送局と連携した作品朗読会、ミニ音楽コンサートなど	9/16～10/22	487人
第26回文学展 記念講演会 植村鞆音氏（作家・直木三十五の甥）、吉川英明氏（作家・吉川英治の長男）、菊池夏樹氏（作家・菊池寛の直孫）の3者による座談会「菊池寛と親友作家の家族」	11/23	202人

ウ 資料収集

菊池寛の遺品や寛に関する資料・図書及び菊池寛が創設した芥川賞・直木賞に関する資料・図書、その他関係資料の収集、保管及び展示を行うとともに、資料の調査研究に努め、菊池寛記念館の収蔵品の充実を図っている。

エ 菊池寛顕彰事業

- (ア) 香川菊池寛賞（高松市・高松市教育委員会・菊池寛顕彰会 共催）

郷土が生んだ文壇の大御所「菊池寛」を顕彰する事業として、また、郷土文化・文学の向上を図るため、文学作品を募集し、優秀な作品に香川菊池寛賞を授与。

・第53回の応募作品数 53篇

・受賞作品：香川菊池寛賞「家族の季節」藤田 享美、

奨励賞「しゅどうと宮里」雅 天我

- (イ) 菊池寛ジュニア賞（高松市・高松市教育委員会・菊池寛顕彰会 共催）

「菊池寛」を顕彰するとともに、市内小・中学校の児童・生徒を対象に文芸の向上を図る目的で創設。生活作文・読書感想文（「寛学」事業で配布した菊池寛児童文学小学校版、文学作品集中学校版など菊池寛の著作物を推奨）・創作作品を対象に募集、選奨し賞を授与。

- ・第26回の応募作品数 小学校の部 191篇 (学校総数31校)
中学校の部 112篇 (学校総数17校)
- ・最優秀作品 小学校の部 「三分間の奏」 竹岡 沙桜
中学校の部 「線香花火」 露本 結希

オ 文化活動事業

(ア) 文芸講座の開催(高松市・菊池寛顕彰会 共催)

地元文芸の振興を図るため、郷土で活躍されている方々を講師に迎え、毎月1回開催。

- ・期間 6月～3月 (延べ10回) ・参加者数 延べ人 686人

(イ) 文学探訪(高松市・菊池寛顕彰会 共催)

中・四国を中心とした文学にゆかりのある地を訪ねる。年1回秋に開催。

- ・開催日 10月31日 ・探訪地 兵庫県姫路市方面 ・参加者数 16人

(ウ) 読書感想文講座

市内小学生を対象に、読書感想文の書き方を指導。夏休み期間中2回開催

- ・開催日 7月25日・7月28日 ・参加者数 35人

(エ) 「文藝もず」第18号発行

香川菊池寛賞受賞作の全文掲載、菊池夏樹名誉館長のエッセイなど各種寄稿を多数掲載。

(オ) 朗読劇「菊池寛劇場」の開催(高松市・菊池寛顕彰会 共催)

児童・生徒を対象とした菊池寛の作品等を朗読劇や語りで公演

- ・開催日 3月10日 ・公演作品「三ビキノウサギ」「極楽」ほか ・入場者数 200人

(カ) サンクリスタル学習

市内の小学生を対象に歴史資料館・菊池寛記念館・図書館による体験学習を行った。

- ・参加校数 30校 ・参加児童数 2,364人

2 平成30年度事業実施予定

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
玉藻公園の管理運営	指定管理者（香川県造園事業協同組合）に委託して、効果的な管理運営に努める。	53,348	
埋蔵文化財調査事業 (試掘・確認調査)	市内の埋蔵文化財包蔵地等及び周辺地での開発事業に対応し、試掘調査等を実施して文化財保護に必要なデータを収集するとともに、史跡等において確認調査を実施して、史跡等の整備・公開活用に必要なデータ収集を行う。	20,403	

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
埋蔵文化財調査事業 (発掘調査)	総合センター等整備、川島地区幼保一体化施設整備、新駅等整備、多肥小学校校舎建設等の公共工事に伴う事前の発掘調査、及び香川県農業試験場跡地等整備、身近な公園整備、市道仏生山町8号線建設、東山崎51号線建設、都市計画道路高松海岸線建設、栗林小学校校舎建設、林小学校校舎建設、学校給食センター建設、放課後児童クラブ建設等に伴う整理作業を行う。	112,893 (事業課計上 予算)	一部繰 越 1,302
史跡石清尾山古墳群保存・整備事業	6月15日に峰山に所在する国史跡石清尾山古墳群と同様の価値を持つ稻荷山地区の稻荷山姫塚など4基の古墳について追加指定が適当との答申が文化庁文化審議会からあった。古墳群を適切に保存し、活用するため、保存活用計画の作成に向けた調査等を行う。また、国指定史跡である鶴尾神社4号墳の保存対策事業に必要な基本設計を作成する。	13,022	一部繰 越 1,318
史跡天然記念物屋島保存・整備事業	屋島活性化基本構想に基づき、史跡・名勝・天然記念物の各分野の調査を実施する。30年度は、これまで実施してきた北嶺山上の千間堂跡、浦生地区城壁の発掘調査報告書を刊行するとともに、石切丁場跡の調査を行う。	2,620	
埋蔵文化財公開活用事業	市内に所在する埋蔵文化財の公開と活用を目的とし、連載講座の開催、パンフレット制作等を実施する。また、石清尾山古墳群国史跡追加指定記念シンポジウム及び関連イベントを開催する。	2,025	
史跡讃岐国分寺・国分尼寺跡保存・整備事業	特別史跡讃岐国分寺跡及び史跡讃岐国分尼寺跡の土地公有化を進める。	92,953	
高松城跡整備事業	桜御門復元整備を行うとともに、重要文化財披雲閣耐震補強に向けた耐震診断を実施する。	100,166	一部繰 越 2,384
文化財公開活用事業	市内外の文化財を訪ね歩く「ふるさと探訪」を年10回開催するとともに、中小学生の親子を対象にした「親子文化財教室」を開催する。	102	
四番丁スクエア管理運営事業	四番丁スクエアの施設管理とともに、埋蔵文化財センターの業務運営を行う。	9,217	
歴史資料館 常設展・企画展等事業	歴史資料館等が所蔵する貴重な資料による常設展・企画展・収蔵品展を開催するとともに、資料館エントランスホールを利用したロビー展、学習室を利用した展示を行う。	3,830	

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
歴史資料館 教育普及活動事業	複合館（中央図書館・菊池寛記念館・歴史資料館）の特色を生かし、施設利用と学習方法を学ぶサンクリスタル学習を実施するとともに、企画展に関連した講座やワークショップ、古文書講座を開催する。また、展示解説等の資料館事業をサポートする資料館センターによる活動を実施する。	4,416	
歴史資料館 資料整備事業	本市の歴史・民俗・考古等に関する資料収集を行うとともに、ボランティアの協力による収蔵資料の解読とデータ化を進め、収蔵品情報システムの運用により、収蔵品データをインターネットで公開する。	2,009	
石の民俗資料館 企画展・ホール展事業	歴史から文化芸術に至る幅広いテーマによる企画展を開催するとともに、地元文化協会との共催によるホール展を開催する。	1,602	
石の民俗資料館 普及活動事業	資料館講座・出前講座・古文書講座等を開催するとともに、石を使った工作教室を実施するなど、体験学習等の遊びを通して石と触れ合う機会を提供する。	84	
香南歴史民俗郷土館 企画展・講座等事業	歴史から文化芸術に至る幅広いテーマによる企画展を開催するとともに、企画展に関連した講座を開催し、夏休み期間中には子ども向けの講座を開催する。	995	
讃岐国分寺跡資料館 企画展・講座等事業	歴史を中心としたテーマによる企画展を開催するとともに、子どもを対象に「ふるさと文化財探偵団」と題した古代体験講座、市民を対象にした歴史講座等を開催する。	470	
菊池寛記念館 文芸講座開催事業	地域文化の向上、文芸の振興を図るため、郷土等で活躍されている文化人を講師に招き 6 月開講、毎月 1 回年 10 回の講座を開催。	81	
菊池寛記念館 読書感想文講座開催事業	小学生を対象に、菊池寛の児童読物を読んでの読書感想文の書き方を指導。夏休み期間中に 2 回開催。	16	
菊池寛記念館 菊池寛作品朗読劇開催事業	親子で菊池寛の作品に親しむとともに、文学に触れる機会の場として、児童・生徒を対象に菊池寛の作品等の朗読劇を開催。	35	
菊池寛記念館 文藝もす発行事業	文化・文学の向上の発信元として、また記念館の館報の役割も担い平成 12 年から毎年刊行している。香川菊池寛賞受賞作及び菊池寛の児童読物、寄稿などを掲載。（第 19 号、約 230 ページ、400 冊印刷）	248	
菊池寛記念館 菊池寛ジュニア賞受賞作品集作成・配布事業	前年度の菊池寛ジュニア賞の受賞作品を 1 冊の作品集にし、市内の各小・中学校、図書館等に配布。（約 140 ページ、400 冊印刷）	184	

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
菊池寛記念館 第54回香川菊池寛賞事業	郷土が生んだ文壇の大御所、菊池寛を顕彰する事業として、また郷土の文化・文学の向上を図るため昭和40年に創設された。毎年、文学作品を募集し、優秀な作品に対して香川菊池寛賞及び奨励賞を授与。	880	
菊池寛記念館 第27回文学展等開催事業（企画展示、関連行事、シンポジウム）	<p>第27回文学展「生誕130年・没後70年記念 菊池寛をふりかえる」を平成30年11月20日～12月26日に開催予定。菊池寛の生誕130年・没後70年を記念して、菊池家の協力のもと、初公開となる菊池家文書や寛の直筆原稿、愛用品、写真など数多くの貴重な資料を展示すると共に、交友関係やエピソードを紹介し、菊池寛の実像に迫る企画展示を構成。</p> <p>関連行事として、特別講演会や芥川龍之介作品の朗読会、ミニ音楽コンサートなどを予定。</p> <p>菊池寛生誕130年・没後70年記念シンポジウム「ふるさとと文学2018—菊池寛の高松（仮称）」を11月10日（土）にサンポートホール高松で開催予定。</p>	6,640	
菊池寛記念館 菊池寛のマンガ本作成事業	菊池寛生誕130年・没後70年の節目に当たり、菊池寛の生涯を著名な文学者との交流を中心にマンガで紹介する図書を製作・配布することにより、高松市の誇る偉人を広く知ってもらう。	5,000	
菊池寛記念館 菊池寛顕彰会事業 (菊池寛ジュニア賞事業など)	<p>菊池寛顕彰会は菊池寛が文芸界に貢献し文化の向上につくした偉大な業績を顕彰することにより、郷土の文芸の振興、文化の向上に寄与する事業に取組んでいる。</p> <p>特に、市内の小・中学校に在籍する児童・生徒を対象に文芸の向上を図るため、文学作品を募集・選奨し、賞を贈呈している市と共に開催の「菊池寛ジュニア賞事業」は、児童・生徒の文学活動の発展に大きく寄与しており、29年度も実施する。</p>	265	

〔スポーツ振興課〕

1 平成29年度事業実施状況

(1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

ア 生涯スポーツの推進

平成29年度は、幼児から高齢者まですべての市民が、いつでも、どこでも、気軽に楽しめる軽スポーツの普及や各種のスポーツ事業を後援した。

(ア) 主催、共催事業（29年度）

種 目	概 要	参加者 (人)
登 山 学 校	登山知識の講座	延べ 690
各 種 大 会 等	屋島競技場オープニングイベント（4月） 高松市50歳以上男子ファーストピッチソフトボール大会（5月） 高松スポーツカーニバル2017（5月） 松岡修造のテニスパーク in 高松（5月） 屋島GENPEIリレーマラソン（5月） さわやかママさんバレー大会（6月） サンポート高松トライアスロン大会（7月） 市民遠泳大会（7月） 中国・四国パラ陸上競技大会（7月） 高松市民スポーツフェスティバル（9・10月） ・小学校区対抗競技大会・水泳競技大会・トリムの祭典 高松ファミリー&クオーターマラソン in AJI（10月） 高松市60歳以上男子スローピッチソフトボール大会（11月） さわやかママさんソフトボール大会（11月） 高松市長杯高松室内陸上競技大会（11月） 高松市さわやかドッジボール大会（12月） 宝くじスポーツフェア「ドリームサッカー」（12月） 高松アゼリアカップ高校選抜ソフトテニス国際大会（2月） 高松市ダイヤゾーン・ボール大会（2月）	延べ 29,500

(イ) 後援事業

平成29年度は、第57回高松市民早朝野球大会や市民ハイキングなど113事業を後援した。

イ 情報の提供

「広報たかまつ」(毎月1日、15日号)や高松ケーブルテレビのスポーツコーナーで周知に努めたほか、報道機関への情報提供による広報など、多岐にわたる広報活動を展開し、効果的な情報提供に努めた。

ウ スポーツ施設の予約管理・案内

かがわ電子自治体システムを利用して、スポーツ施設の予約管理・案内のシステム化を図り、利用施設の窓口のみならず、公衆端末、インターネット、携帯サイト等による利用申込みを推進し、利用者の利便を図った。

エ 団体の育成

競技スポーツの振興や指導者の養成・資質の向上を図り、また、団体生活の中で健全な青

少年を育成するなど、地域住民の健康づくりや地域のコミュニティづくりに寄与し、市民の健康・体力つくり運動を推進するため、それぞれの団体の育成を通じてスポーツの振興を図った。

なお、各スポーツ関係団体において様々な活動を展開しているが、市民の多様化するニーズに即した効率的・効果的な施策の展開が求められていることを踏まえ、高松市体育協会、高松市スポーツ少年団、高松市地区体育協会連絡協議会、高松市体力つくり市民会議及び（公財）高松市スポーツ振興事業団並びに市で構成する「高松市スポーツ団体一元化設立準備委員会」において協議・検討した結果、新たな組織として、「（公財）高松市スポーツ協会」が平成30年4月1日付けで発足した。

(ア) 高松市スポーツ推進委員

スポーツ振興法に基づき、昭和37年に設置された。平成23年にスポーツ基本法が施行され、名称が体育指導委員からスポーツ推進委員に変更され、現在、校（地）区選出委員96人（欠員12人）、学識経験者6人、合計114人で構成している。

校（地）区選出委員は、各校区におけるスポーツ・体力つくりの中心的指導的存在で、その活動は市民の声の実践者として定着している。特に、学校体育施設開放事業（小学校）の推進者として地元と市とのパイプ役となり、自主管理運営方式を軌道にのせた功績は大きい。また、各種スポーツ・体力つくり運動の普及推進のため、大会、教室、講習会を市民の誰もが参加できるよう企画運営し、これらの活動を通じて、自主運営組織を次々に誕生させている。

(イ) 高松市体育協会（31団体）

体育を振興して市民体育の向上を図るため、昭和34年に設立。各種競技スポーツの振興、競技力向上に努めるだけでなく、指導者を育成し、資質の向上を図るとともに各団体が自主運営できるように指導している。

(ウ) 高松市地区体育協会（45団体）

地域住民団体の健康づくり、体力つくりを図り、地域のコミュニティづくりに寄与することを目的とする自主運営団体で、現在、45地区体協がある。

運営組織は、スポーツ・体力つくり関係団体のみならず、地区の各種団体（自治会、老人会その他社会教育関係団体等）で構成し、学校体育施設開放運営委員会と連携を保ちながら、地域住民の誰もが継続的にスポーツ・体力つくり運動ができるようなプログラムづくりに努めている。

(エ) 高松市体力つくり市民会議（17団体）

市民の健康・体力つくり運動を推進して、健康福祉都市を建設することを目的に、昭和51年に体力つくり関係団体の代表者をもって設立。体力つくりの指導者や団体の育成に努め、目的達成のための各種事業を展開している。

(オ) 高松市スポーツ少年団（178団体）

東京オリンピック開催を記念して、昭和39年に設立されたもので、日常の団体生活の中で健全な青少年を育成するとともに、地域における青少年を中心とした住民スポーツの組織を作ることを目的としている。高松市では、昭和39年に設立、現在、178団体で、

男子団員1, 987人、女子団員1, 088人、計3, 075人、指導者916人が登録している。

オ 指導者の養成

指導者の養成・活用を図るため、平成6年度に「高松市スポーツリーダーシステム整備計画」を策定し、7年度から3ヵ年計画でシステム整備を行った。スポーツリーダーシステムができ、10年余り経過したことにより、平成22年、23年にかけて高松市スポーツ推進審議会において見直しを行い、平成24年度からは次の項目を中心に、指導者の養成に努めた。

- (ア) 現有リーダーに対する知識・技能の向上……スポーツ推進委員等への研修事業の実施
- (イ) リーダーの後継者の育成……地域スポーツリーダー養成教室の開催

また、平成28年度からは、「高松市スポーツ推進計画（28年3月策定）」に基づき、市民一人一人が、年齢や体力などに応じて、スポーツに親しむことができるよう、一定の資格を有したスポーツ指導者を登録するとともに、効果的に活用するシステム「高松市アドバイザースポーツシステム（通称：TASS（タス）」を、高松市体育協会との連携により構築に取り組んでおり、認定指導者講習会（4回開催）の受講修了者121人をTASS認定指導者として登録した。さらに、29年度では、認定指導者講習会を2回開催し、受講修了者62人を新たに登録するとともに、モデル校への派遣事業として、小学校課外授業（水泳、陸上）や体育授業（器械体操、マット運動）において指導を行った。

（2） スポーツイベントの振興

市民のスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機運の醸成を図るため、国際的・全国的な大会などスポーツイベントの振興に努めた。

ア 国際・全国大会の開催

国際的・全国的なスポーツ大会を開催し、スポーツ人口の増加と競技力向上を図る。

（ア） NTT ASTCトライアスロンアジアカップ

サンポート高松トライアスロン～瀬戸内国際体育祭～

期　　日　　平成29年7月8日～9日

会　　場　　サンポート高松周辺及び中央通り

参加者数　730人

（イ） 第31回高松アゼリアカップ高校選抜ソフトテニス国際大会

期　　日　　平成30年2月10日～11日

会　　場　　高松市総合体育館

参加者数　約340人

イ 高松市民スポーツフェスティバル

本市の中核的スポーツ団体の協力を得て、市民が生涯にわたり健康増進と体力つくりができるよう、市民総参加型のスポーツフェスティバルを開催した。

事業内容としては、各小学校区の代表選手による「校区対抗競技大会」、市を6つのブロックに分けた対抗戦である「水泳競技大会」のほか、市民の誰もが気軽に参加できる「トリムの祭典」を実施した。

ウ ファミリー&クオーターマラソン in AJI

期　　日　　平成29年10月22日

会　　場　　庵治町

参加エントリー数　　約1, 500人（台風の影響により中止）

(3) スポーツ・レクリエーション施設の整備・管理運営

ア スポーツ施設

平成18年4月から指定管理者制度を導入し、現在、体育館、グラウンド、庭球場、プールなど48施設において、(公財)高松市スポーツ振興事業団が、平成17年12月から健康増進温浴施設ループしおのえにおいて、シンコースポーツ・四電ビジネスグループが、平成29年4月から屋島レクザムフィールドにおいて、四電工グループ(株式会社四電工・太平ビルサービス株式会社・長谷川体育施設株式会社)が、それぞれ指定管理者として管理運営を行っている。

また、スポーツ施設の使用料については、平成17年度の近隣6町との合併により、旧市内の施設と合併町の施設において料金の格差があるなどの課題があったことから、平成22年6月議会において、高松市スポーツ施設条例等の一部改正を行い、受益者負担の原則と公平性の確保の視点に基づき、施設の維持管理費や近隣施設の料金水準等を勘案する中でスポーツ施設使用料等の見直しを実施した。新料金は、平成23年4月から適用している。

なお、平成27年4月から使用料が指定管理者の収入となる利用料金制を導入している。

また、屋島陸上競技場については、平成20年4月1日に香川県から移管を受け、管理運営を行っていたが、施設の老朽化が著しく、耐震性など安全面に問題があることから、平成24年10月末をもって閉場し、再整備工事を行っていたが、平成29年3月に完成し、平成29年4月23日にリニューアルオープンした。

ヨット競技場については、老朽化していることから、本市のマリンスポーツの拠点として、平成27年度から再整備工事に着工し、平成30年3月に完成した。

南部地域スポーツ施設(仮称)については、施設名称が高松市立りんくうスポーツ公園に決定し、平成30年度の完成を目指し整備を続けている。

イ 学校体育施設開放事業

この事業は、昭和40年、子どもたちに安全な遊び場を提供しようとの配慮から四番丁小学校において実施。これが契機となって、昭和44年春から市街区域の4小学校を開放し、逐次指定校を増し、現在では市内全小学校となっている。

一方、一般市民のスポーツ振興をねらいとする学校体育施設開放事業としては、昭和50年に、「高松市学校体育施設開放規則」を制定し、市内全小学校の体育施設を自主管理方式で開放するとともに、中学校については、地域性、施設面積等を勘案して市教委直属の指定校方式でこの事業を推進している。

平成29年度開放状況は、小学校55校、中学校15校となっている。

(ア) 市内小学校の体育施設開放

各校区において学校体育施設開放運営委員会が設置され、自主的に運営。

(イ) 中学校及び高等学校の体育施設開放

市教委の登録を受けたグループを対象に、抽選方式により、市教委運営。

2 平成30年度事業実施予定

事業名	事業の内容	予算額(千円)	備考
高松市民スポーツフェスティバル事業	<p>本市の中核的スポーツ団体の協力を得て、市民が生涯にわたり健康増進と体力つくりができるよう、市民総参加型のスポーツフェスティバルを開催する。事業の内容としては、各小学校区の代表選手による「校区対抗競技大会」、市を6つのブロックに分けた対抗戦である「水泳競技大会」、市民の誰もが気軽に参加できる「トリムの祭典」を29年度まで実施したが、「校区対抗競技大会」及び「水泳競技大会」は廃止とし、これに替わる健康・体力つくりに重点を置いた事業を30年度において構築することとしている。</p> <p>なお、当該事業の一環であった庵治半島折り返しをコースとする「ファミリー&クオーターマラソン in AJI」については、28年度から単独事業として実施している。</p>	2,000	
障がい者スポーツ推進事業	障がい者のスポーツ推進を図るために、本市スポーツ施設の環境整備や日本パラ陸上競技選手権大会をはじめとした障がい者スポーツ大会の開催、また、日本パラ陸上競技連盟強化指定選手及び強化育成指定選手の合宿を実施し、障がい者スポーツ人口の増大と競技力向上に取り組む。	20,632	
地域密着型トップスポートチーム支援事業	本市から全国への情報発信を始め、市民のふるさと意識の高揚や、スポーツ振興を通じた市民の健康増進等を図るために、地域密着型トップスポートチームを支援する。	18,200	
学校体育施設開放推進・整備事業	<p>市民の体力つくりと健康の増進を図るために、市民が身近に利用できるスポーツ・レクリエーションの場として、学校の体育施設を学校教育活動に留意する中で開放する。</p> <p>合わせて、学校体育施設を開放するため設置しているナイター照明等を維持修繕する。</p>	18,384	

事業名	事業の内容	予算額(千円)	備考
スポーツ施設管理運営・整備事業	りんくうスポーツ公園を加えた市内の49施設については、(公財)高松市スポーツ協会、健康増進温浴施設「ループしおのえ」については、シンコースポーツ・四電ビジネスグループ、高松市屋島競技場については、四電工グループ(株式会社四電工・太平ビルサービス株式会社・長谷川体育施設株式会社)を指定管理者として指定し、利用者の利便性の向上と施設の利用促進に努め、市民スポーツの振興・充実を図る。合わせて、施設の老朽化等に伴う改修工事等を行う。	743,694	
スポーツ施設予約管理・案内事業	市民の健康増進と体力つくりを支援するため、各種の情報提供や施設予約管理機能を有する「かがわ電子自治体システム施設予約申込サービス」を利用したスポーツ施設の効果的な予約管理・案内に努める。	13,462	
オリンピック・パラリンピック関連事業費	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会向け、日本全体で機運を盛り上げるために、オリンピック・パラリンピックフラッグを市庁舎内に展示するほか、「フラッグ訪問イベントin高松」として、オリンピアン、パラリンピアンを招へいし、パレードやトークショーを行う。	448	
スポーツ施設オープニングイベント開催事業費	平成30年度において、ヨット競技場については、4月にクルーザーヨットの舵杯をプレオープニング大会として開催する。また、7月に全施設の供用を開始することから、そのオープニングイベントとして、7月末には全国中学校ヨット選手権大会を開催する。 また、りんくうスポーツ公園のオープニングイベントについては、8月頃に香南及び香川のサッカースポーツ少年団を中心として、県外からのサッカーチームを加え、交流試合等を行う。	2,941	

〔美術館美術課〕

1 平成29年度事業実施状況

(1) 高松市美術館

高松市美術館の利用者数 156,907人

ア 展覧会

美術館主催展として特別展及び常設展を開催するとともに、貸館として一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリーを美術団体・個人や小グループ等の利用に供した。

(ア) 展覧会実績

a 開催展延数 59展（貸館を含む。）

b 開催延日数 737日間

c 入場者延数 131,045人（1日平均 177.8人）

(イ) 特別展（主催展）

a 開催展延数 5展

b 開催延日数 179日間

c 入場者延数 53,290人（1日平均 297.7人）

展覧会名	会期	日数	入場者数(人)
絵本のひきだし 林明子原画展 はじめてのおつかい、こんとあき、そしてひよこさんまで	4/15(土)～5/28(日)	38日	13,594
蜷川実花展	7/7(金)～8/27(日)	46日	27,863
没後45年 鎌木清方展	9/9(土)～10/15(日)	32日	6,545
高松コンテンポラリー・アート・アニュアル vol.06／物語る物質	10/22(日)～11/26(日)	31日	2,712
高松市美術館コレクション+(プラス) 木村忠太とこぼれる光のなかで	2/17(土)～3/25(日)	32日	2,576
		178日	53,290

(ウ) 常設展

美術館の所蔵品の中から、毎回テーマを設定して展示替えを行った。

a 常設展示室1（現代の美術）

戦後の日本の現代美術、これに関連する20世紀以降の世界の美術を順次展示した。

b 常設展示室2（讃岐漆芸と金工）

玉楮象谷に始まる讃岐漆芸を中心に、技法やテーマに沿って展示した。

c 開催状況

開催展延数4展 開催延日数 286日間 入場者延数 26,914人（1日平均94.1人）

イ 貸館

(ア) 貸館実績

a 一般・企画展示室

開催展数 16 展 開催日数 69 日間 入場者数 25,486 人（1 日平均 369.4 人）

b 市民ギャラリー

開催展数 34 展 開催日数 203 日間 入場者数 25,355 人（1 日平均 124.9 人）

ウ 講演会・美術講座等

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やギャラリートーク等を開催した。また地元講師や県外講師を招いたワークショップ、小学生を対象とした鑑賞プログラム「アートで遊ぼう！」、リニューアルにより新設された「こども+（こどもアートスペース）」においてアートプログラムを開催するほか、出前講座や学校との連携などアウトリーチに努めた。

(ア) 記念講演会等

開催日	講師・出演者	内 容	参加者数(人)
4/15(土)	鈴木潤(子どもの本専門店 メリーゴーランド京都店長)	絵本の中の宝物	63
7/7(金)	蜷川実花(写真家) 小山登美夫(ギャラリスト)	蜷川実花×小山登美夫トークショー	180
7/8(土)	建畠哲(美術評論家・詩人) 篠原資明(当館館長)	日本の80年代美術をめぐって	82
9/9(土)	島田康寛(美術史家)	鎌倉市鎌倉清方記念美術館学芸員	96
10/8(日)	福江成美 (菊池寛記念館学芸員) 当館学芸員	文学と美術の邂逅—鎌倉清方、泉鏡花、菊池寛を中心に	80
10/15(日)	今西彩子(鎌倉市鎌倉清方記念美術館学芸員)	鎌倉清方の美人画	83
10/22(日)	小野耕石、亀井洋一郎、橋本雅也、南条嘉穂、須賀悠介、高本敦基(美術家)	「アニマル vol. 06 展」出品作家によるアーティスト・トーク	23
11/23(木・祝)	やなぎみわ(美術家・演出家) 東善之(京都工芸繊維大学大学院助教)	やなぎみわ×東善之 対談 「動き回る小型劇場の夢 モバイル・シアター・プロジェクトについて」	70
2/17(土)	曾谷朝絵、藏本秀彦(美術家)	「コレクション+(プラス)」出品作家によるアーティスト・トーク	50
3/31(土)	三輪眞弘(作曲家)	三輪眞弘講演会 「音楽がうまれるところ」	60
参加延べ人数			787

(イ) 館長講座「まぶさび教室」

開催回数 10 回 参加述べ人数 530 人

(ウ) ギャラリートーク (当館学芸員等による)

a 特別展 開催回数 9 回 参加延べ人数 305 人

b 常設展 開催回数 6 回 参加延べ人数 99 人

(エ) ワークショップ

開催月日	講 師	内 容	対 象	場 所	参加者数(人)
5/4(木)	当館学芸員	高松丸亀町商店街振興組合連携事業	3歳～小学2年生	高松丸亀町商店街	18
9/23(土)	中井由希子 (染色家)	ロウケツ染めで世界にたった一つのハンカチを作ろう	小学生～大人	3階講座室	15
9/30(土)	高本敦基(美術家・出品作家)	公開制作：高松☆群像プロジェクト	小学生	中2階ロビー	21
10/22(日)	南条嘉毅(美術家・出品作家)	土で絵を描こう！	3歳～小学生 (未就学児は保護者同伴)	3階講座室	13
11/26(日)	亀井洋一郎(美術家・出品作家)	つぶすかたち-レリーフをつくろう！	小学生～大人	3階講座室	12
1/28(日)	平川めぐみ(衣装デザイナー)	ヘンテコファッションショー	未就学児～小学生 中学生～大人	3階講座室 中2階ロビー (ファッションショー)	21
2/17(土)	曾谷朝絵(美術家・出品作家)	MIZUNOWA ミズノワから花開くヒトノワ	未就学児～大人	中2階ロビー	23
3/21(水・祝)	藏本秀彦(美術家・出品作家)	木漏れ日の飛び出すカードを作ろう	小学生以上	3階講座室	13
3/24(土)	とんぼせんせい (イラストレーター)	お面をつくってみよう	未就学児～小学生	中2階ロビー	9
参加延べ人数					145

(オ) 子どものアトリエ

開催月日	講 師	テ マ	対象	場所	参加者数(人)
7/21(金) 7/23(日)	さとうゆうじ (彫刻家) さとうゆき (布作家)	サカナ型彫刻を作ろう！	小学生～中学生	中2階 こども+(プラス)	38
7/21(金) 7/23(日)	森かおり (美術家・アートセラピスト)	① アートボックス・水の中森の中 ② アートボックス・影の世界	未就学児～中学生	中2階展示ロビー	44
12/2(土)	さとうゆき (布作家)	ハッピークリスマス☆アドベントカレンダーをつくろう！	未就学児～小学6年生(※未就学児～小学3年生は、中学生以上の方とペアで参加)	中2階展示ロビー	29
12/3(日)	樺本美千子 (芸術士) 池田早智	日本画絵の具を使ってみよう！	小学生以上	3階講座室	14
3/24(土)	松尾由美 (芸術士)	色であそぼう！	未就学児～小学生	3階講座室	19
参加延べ人数					144

(カ) アートで遊ぼう！

鑑賞教育の充実を図るための鑑賞プログラム「アートで遊ぼう！」を実施し、ゲームや遊びを取り入れながら、当館職員とともに美術作品を鑑賞した。

	開催月日	講 師	内 容	場 所	参加者数(人)
前期	4/29(土)	当館学芸員ほか	絵本のひきだし 林明子原画展	3階講座室	20
	6/17(土)	当館学芸員ほか	第1期常設展	中2階こども+(プラス)	8
	7/15(土)	当館学芸員ほか	蜷川実花展	中2階こども+(プラス)	12
後期	2/3(土)	当館学芸員ほか	第4期常設展	3階講座室	3
	3/3(土)	当館学芸員ほか	高松市美術館コレクション+(プラス)	3階講座室	10
参加延べ人数					53

(キ) ふらっとアート

子どもを始め、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、リニューアルにより新設された「こども+（こどもアートスペース）」において、アートプログラムを開催。毎週木・土曜日の12:00から16:00まで開設し、延べ1,303人（対象：小学生以下、参加費：無料）が参加した。

内 容
くるくるまわる風見どり
くじびき！つくるんアート
水族館に大変身！？海の生き物をつくろう！
マンガの道具を使ってみよう！／つくるんアート！ハロウィンおばけ
水ねんどであそぼう！／つくるんアート！ゆきだるまつくろう♪
つくるんアート！紙工作ピザを作ろう／油絵の具を使ってみよう！

(ク) 出前講座

開 催 日	講 師	内 容	開催場所	参加者数(人)
7/17(月)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	高松市立吉高松小学校	14
7/24(月)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	木太天満宮社務所	15
8/22(火)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	114 プレミアムサロン3階	12
8/25(金)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	横内自治会集会場	18

開催日	講師	内容	開催場所	参加者数(人)
11/11(土)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	古高松地区社会福祉協議会	50
11/17(金)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	高松保育園本堂	10
1/6(土)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	かがわリハビリテーション 福祉センター	15
2/3(土)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	高松市美術館 (1/6(土)の活動と連携)	11
3/29(木)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	パワーシティ屋島店	1
参加延べ人数				146

(ケ) おはなし会

開催日	話者	開催場所	参加者数(人)
4/15(土)			
4/29(土・祝)			
5/13(土)	高松本とおはなしの部屋	中2階こども+(プラス)	243
5/27(土)			

エ 施設の提供

美術館の講堂を講演会・コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供した。

また、美術図書コーナー、こども+(こどもアートスペース)を一般利用者に開放した。

(※有人開室日のみ)

施設名	利用回数等	利用人数(人)
講堂	66回	3,619
講座室	778回	8,168
美術図書コーナー	259日	4,530
こども+(こどもアートスペース)	※125日	※1,303

オ 美術資料の収集

<美術品>

(単位 点)

区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
平成29年度購入	3	—	4	2	—	9
平成29年度寄贈	—	—	1	—	—	1
平成29年度合計	3	—	5	2	—	10
内訳	購入	780	46	256	525	16
	寄贈	634	24	227	392	12
		146	22	29	133	4
						334

<図 書>

(単位 冊)

区分	購入	寄贈	除籍	計	累計
美術図書	337	438	—	775	31,763
展覧会図録	40	530	—	570	18,151
合計	377	968	—	1,345	49,914

カ 美術作品解説ボランティアの設置

市民の美術活動と展覧会観覧者の利便を図るため、美術作品解説ボランティア c i v i (シヴィ) の活動を支援した。

ギャラリートーク開催実績 開催回数 62回 参加人数 1,289人

キ 美術館学習等

サンクリスタル学習等と連携させた美術館での鑑賞・施設学習を実施した。

サンクリスタル学習参加校のうちで、引き続いて美術館での学習を希望する小学校を受け入れ(サンクリスタル高松ー美術館間の交通費を負担)、展覧会の団体鑑賞や施設見学、アートグームなどの活動を行った。

7月11日から1月23日まで、参加校：8小学校 延べ人数：644人(引率者を含む)

(参考：サンクリスタル学習以外の美術館学習 参加校45校、延べ1,107人)

ク 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

博物館実習の実施については、成安造形大学ほか11大学から博物館実習生12名を受け入れた(8/1～8/6)。また、インターンシップ実習生6名(8/14～9/15)、香川県立三木高等学校インターンシップ2名(7/21～7/23)、高松短期大学の学生ボランティア8名(6/24～10/22)をそれぞれ受け入れた。

中学生の職場体験としては、高松市立龍雲中学校ほか8校から延べ26名の中学生を受け入れた。(9月～平成30年1月)

ケ 美術館の日

「美術館の日」(8月第1土曜日8月5日)に、展覧会の観覧料を無料としたほか、「ふらつとアート」など、市民が気軽に美術館を訪れて楽しめる催しを開催した。

特別展観覧者2,753人、展示室での鑑賞を促す鑑賞カード利用者541人、ふらつとアート参加者324人、花火の迷路参加者361人などの来館者があった。

コ 芸術的催物

(ア) ミニコンサート等

特別展会期中に、県内演奏家等によるミニコンサート等を開催した。

ミニコンサート等開催回数 5回 参加述べ人数 664人

(イ) 美術館友の会との共催によるコンサートの開催

友の会ふれあいコンサート 2回 参加述べ人数 325人

サ 学校との連携事業

開催日	出席者	内容	開催場所	参加者数(人)
5/4(木・祝)	高松市立紫雲中学校美術部 香川大学教育学部附属高松中学校美術部	中学生プロジェクト 「宝物をみつけよう！」 特別展に関連したワークショップを企画、実施した。 ①きょうはひじゅつのひ！(香川大学教育学部附属高松中学校美術部) ②相棒とわたしのじこしょうかい(高松市立紫雲中学校美術部) ③ねん土でザップーン！(高松市立紫雲中学校美術部)	1階エントランスホール	196
5/4(木・祝) 5/13(土) 5/20(土)	高松市立紫雲中学校美術部 香川大学教育学部附属高松中学校美術部	中学生プロジェクト 「はじめての美術館たんけん！」 輪にしたロープの中に入って、電車ごつこのように展示室を案内した。案内役、ロープの装飾は中学生が考え、制作した。	2階展示室	21
7/28(金)	香川県中学校教育研究会 高松支部美術部会 夏季研究会	当館学芸員や川浪千鶴(高知県立美術館学芸員)を講師に中学校美術教諭の研修会。生誕100年・没後30年の画家・木村忠太(高松市出身)の作品変遷等についてのレクチャーなど。	高松市立高松第一中学校	40
参加延べ人数				257

シ 高松市美術館サポートショップ事業

会期中の特別展チケットの半券、又は有効期間中の定期観覧券（年間パスポート）を提示すると、参加店舗（145店舗）で割引などの特典を受けることができる高松市美術館サポートショップ事業を実施した。

ス 美術館友の会イベント

友の会スペシャルイベントとして、美術館主催の特別展に併せて、トークショーやワークショップ等を開催した。開催回数5回、参加延べ人数160人

また、友の会美術鑑賞旅行を行った。開催回数2回、参加延べ人数64人

(2) 高松市塩江美術館

高松市塩江美術館の利用者数 12,469人

ア 展覧会

美術館企画展及び常設展を開催するとともに、貸館として企画展示室及びホールを、美術団体・個人や小グループ等の利用に供した。

(ア) 展覧会実績

- a 開催展延数 10展（内訳 企画7展・常設3展）
- b 開催延日数 567日間
- c 入場者延数 11,842人（1日平均20.8人）

(イ) 企画展

開催展数：7展 開催日数：270日間 入場者数：5,827人（1日平均21.6人）

展覧会名		会期	日数	入場者数(人)	展覧会の内容
1	春色-DIARY-展	※3/4(土)～4/9(日)	8日	131	香川県出身の作家が描いたやわらかく、晴れやかで、すがすがしい「春」を連想させる作品を館蔵コレクションから紹介。
2	かがわ・山なみ芸術祭連企画一時と共に/ AGAIN 井本英樹 ひび びびび展	4/18(土)～5/28(日)	36日	1,469	坂出市を拠点に美術教育活動を展開。日常の何気ない出来事を独自の視点とユーモアを交えて描いた作品など約380点を紹介。
3	～やさしい時間～ 豊田泰弘展	6/3(土)～7/17(月・祝)	39日	929	愛媛県在住で、人々が日常の中でふと目にする車、食べ物などをモチーフに、懐かしく遠い記憶を呼び起させるような作品67点を紹介。
4	塩江美術館コレクション展 －十人十色、色を楽しむ－	7/22(土)～9/3(日)	38日	937	当館コレクションから県出身の川島猛や四宮金一、小林正六など現代作家による色使いや色彩という視点から美術作品における色の魅力を探る。作品約30点を紹介。
5	第31回 思可牟展	9/12(火)～10/22(日)	36日	824	美術グループ「思可牟」は、香川県出身者で、京都市立芸術大学の卒業生で結成。グループ結成31年目を迎えて様々なジャンルで、制作された作品を一堂に紹介。
6	～天使からの系譜～所幸則 展－うさぎガールと黒縁眼鏡－	10/31(火)～12/10(日)	36日	537	香川県出身で世界的に活躍する写真家 所幸則。写真集『うさぎガールと黒縁眼鏡』の出版を記念して開催。“時間軸”をテーマにし、地元高松の見慣れた風景と少女(娘)を撮影した作品を紹介。
7	～道を往く～展 ～歩く向こうに～	12/16(土)～2/4(日)	39日	455	当館コレクションの中から、「道」を描いた作品に注目。鑑賞者がそこに描かれた道の先に何かの物語を想像して楽しめる作品を紹介。
8	塩江物語展	2/10(土)～3/25(日)	38日	545	安原文化の郷保存会が運営する塩江歴史資料館所蔵の資料や当館のコレクションの中から、塩江の歴史や文化を絵画や写真など残された記録約100点を紹介。

※前年度開催（日数区切り）

(ウ) 常設展

美術館の所蔵品のうち、熊野俊一氏の寄贈作品を中心に他の郷土作家などとともに年間3回の展示替えを行い、作品を展示了。

開催状況 展示替え 3回 開催日数 297日間 入場者数 6,015人 平均 20.3人
イ 美術講座

陶芸教室、風鈴作り教室に加え、企画展に合わせたワークショップ等11講座を開講した。
(延べ144人参加)

ウ 美術館の日（8月5日）

美術館の観覧料免除や親子で楽しめるイベントなどを実施し、市民が気軽に美術館を訪れて楽しめる催しを開催した。

入館者数及びワークショップ参加者 246人

エ 芸術的催し物

コンサートなど他分野におけるアートイベントを開催。

タイトル	開催月日	料金	内 容	入場者数 (人)
愉快な音楽イベント ひび びひび 音楽と語り	4/29(土)	鶴岡雅子、大森美帆、浜野光男(演奏) 前田聰子(朗読) 三好真理(アシスタン ト)	展覧会関連イベントで、ジャズとおはなしによる展示作品とのコラボレーションコンサートを開催。	73

オ 施設の提供

美術館の企画展示室・ホールを作品展示の場として利用に供している。(29年度は実績なし)

カ 美術資料の収集

(単位 点)

区分	洋画等	日本画	彫 刻	工 芸	書	その他	計
平成29年度 購入	—	—	2	—	—	—	2
平成29年度 寄贈	—	—	—	—	—	2	2
平成29年度 合計	—	—	2	—	—	2	4
累 計	665	7	12	13	119	453	1,269
内 訳	購入	46	—	6	7	—	60
	寄贈	619	7	6	6	119	452
							1,209

*その他(写真・熊野俊一資料・藤澤東嶽関連書籍・芸術祭作品)

2 平成30年度事業実施予定

事 業 名	事 業 の 内 容	予算額(千円)
高松市美術館開館30周年記念事業	開館30周年記念事業として、記念特別展5展のほか、記念講演会、コンサートや商店街との連携事業の開催、収蔵品図録Vを刊行する。	72,326
展覧会開催事業	高松市美術館において、常設展を開催し、国内外の優れた美術作品を鑑賞する機会を設け、学芸員や美術作品解説ボランティアが作品を解説とともに、講演会等の関連イベントを実施する。また、塩江美術館においても、企画展、常設展を開催し、地元ゆかりのアーティストの作品を鑑賞する機会とともに、学校訪問ワークショップなどを実施する。	8,834
ミュージアムコンサート開催事業	高松市美術館、塩江美術館において、特別展等に関連したミニコンサート等を開催する。	46

事業名	事業の内容	予算額(千円)
「子どものアトリエ」開催事業	小・中学生を対象として、美術作家等による造形的なワークショップや地域性を活かした講座を開催し、美術的感性と創造性の涵養を図る。	115
美術教育普及事業	出品作家等を講師にしたワークショップを開催し、市民の芸術への関心と認識を深める。また、小・中学生を対象に、美術館学習などの機会を利用して鑑賞授業を実施するほか、「子ども+」において未就学児はじめ世代を超えた教育普及プログラムを展開する。	1,344
美術資料収集事業	高松市美術館では、美術品等取得方針に基づき優れた美術品等を系統的に収集する。また、美術図書などの二次資料を継続的に収集するとともに、広く公開しその活用に努める。また、塩江美術館においても県出身で県内外にゆかりのある作家などの作品を収集していく。	11,488
「アートで遊ぼう！」開催事業	児童生徒の美術鑑賞力向上と美術館利用の動機付けとするため、展覧会と関連した子ども向け鑑賞教室を実施する。	—
「美術館の日」事業	市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう、8月の第1土曜日（8月4日）を「美術館の日」と定め、多くの市民が集い、親しみ、にぎわう美術館となるよう、観覧料の免除や親子で楽しめるイベントなどを実施する。	—
「高松市美術館サポートショップ」事業	商店街等周辺店舗と連携し、参加店舗で様々な特典が受けられ、また、美術館との相互割引を行う「高松市美術館サポートショップ」事業を実施する。	180
塩江美術館改修工事事業	建物及び設備の改修工事の実施。工事に伴い、8月13日(月)～3月31日(日)まで休館予定。	81,214